

A3 簡易版

新潟市西区地域福祉計画・地域福祉活動計画
(2021～2026)第3次
いきいき西区ささえあいプラン

地域福祉とは

地域福祉とは、地域で生活するすべての人が、お互いを尊重し、支え合い、助け合って安心して暮らせるような地域社会を築いていくことです。

地域福祉計画とは

地域福祉計画とは、社会福祉法第107条の規定に基づき、市区町村が地域の課題や問題を明らかにし、その解決に向けた取り組みを進め、「地域共生社会」の実現を目指す行政の計画です。

平成30年度から各種福祉計画の最上位に位置付けられています。

地域福祉活動計画とは

地域福祉活動計画とは、社会福祉協議会が中心になって市民、福祉関係者等と共に策定する民間の計画です。

この計画は地域住民による地域のための計画であり、社会福祉協議会のための計画でもありませんし、コミュニティ協議会だけのための計画でもありません。

地域福祉計画が理念計画であるとするれば、地域福祉活動計画は行動計画であるといえます。

いきいき西区ささえあいプランとは

地域福祉計画と地域福祉活動計画は一体的に作成することが望ましいとされており、西区ではこれらの一体的な総称として「いきいき西区ささえあいプラン」と称しています。（第3次計画は令和3年度から令和8年度）

いきいき西区ささえあいプランの策定や進捗管理は、「いきいき西区ささえあいプラン推進委員会」で行っています。

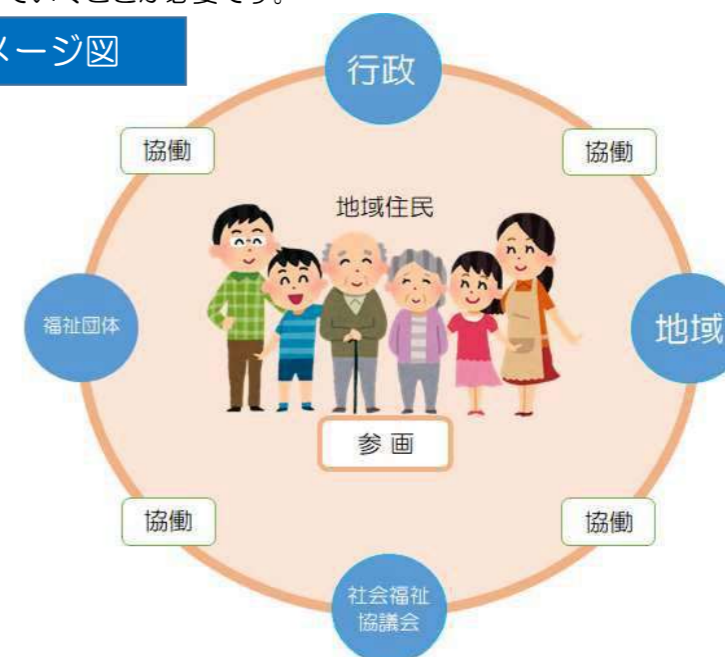
西区の基本理念・基本目標

基本理念	にっこりと みんなで創る 支えあい しあわせつなぐ 地域の輪 くらし健やか いきいきと
基本目標1	誰もが認めあい 助けあえる まちづくり
基本目標2	信頼でつながり 連携できる まちづくり
基本目標3	一人ひとりが 自分らしく参加できる まちづくり
基本目標4	健やかに 安心して暮らせる まちづくり

誰もが安心して暮らせる社会を目指して

お互いに助け合い、支え合う住みよい西区を目指し、地域、福祉団体、区、社会福祉協議会などが協働で取り組んでいくことが必要です。

イメージ図



この用紙は「第3次いきいき西区ささえあいプラン」の概要版から一部内容を抜粋したものです。裏面では、地域別計画を掲載しております。お住まいの地域の地域福祉活動計画をご確認ください。

西内野小学校区

人口 9,137人(3,786世帯)
65歳以上 2,667人(29.2%)
14歳以下 1,107人(12.1%)
※R2.3.31現在(14歳以下はR2.5.1現在)

★★地域の特色★★

- ◇1 古くからの住宅地とJR内野西が丘駅周辺の新興住宅地が共存している。
- ◇2 農業も盛んだが、サラリーマンや公務員など住民の職業は多岐にわたる。
- ◇3 市立幼稚園や県立高校、近隣に新潟大学があり文教的な地域である。
- ◇4 病院・スーパーが多く、交通の便が良い。
- ◇5 自然も豊かで米、スイカ、メロン、長ネギ、大根などの栽培が盛んである。



この地区の 良いところ



- 各種ボランティア活動の参加率が高く、活動を通じて顔がわかる関係ができています。
- 学校と地域コミュニティとの連携ができており、地域の方の学校行事の参加率が高い。
- 西内野小学校の児童数が増えている。
- 年代に応じた健康に対する取り組みが盛んである。
- 地域で子育てをするという意識が高い。
- 地域住民の結びつきが強い。

この地区の 課題



- 地域住民の高齢化。(高齢者支援・空き家対策)
- 地域づくりに若い世代をはじめ新しい人の関わりが不足している。
- 諸活動の周知方法に対する形骸化。

地域で行われている主な取り組み「私たちは、こんな活動をしています！」

【子育て支援事業】

こばとの会 毎週木曜日西コミセンで未就園児の親子の居場所づくり

【自主防災訓練】

小学校区全体の自治会・町内会で1年に1度実施。

【盆おどり大会】

7月末、西内野の中心部で開催。PTAや自治会が中心となって夜店も催し、毎年地域住民が楽しみにしている行事。

【高齢者支援活動】

高齢者の顔の見える関係づくり支援、友愛訪問活動(民生委員、自治会・町内会)

【もちつき大会】

11月末、西内野小学校体育館で行う。道具も材料も地元という手作りのもちつき大会。世代間交流、地域交流、伝統文化の継承などを目的として実施。

【小・中学校での活発なボランティア活動】

西内野小学校は、平成26年度 優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣賞受賞。今では、年間のべ3000人～5000人のセーフティスタッフ、学校支援ボランティア活動がある。内野中学校も、学習支援ボランティアがのべ2000人を超える。

【住民による生活支援】

ゴミ出し支援、雪かき、草刈り、お助け隊、支援隊

【顔の見える関係づくり】

地域の茶の間、西内野食堂(地域食堂)、盆踊り練習会、星空観測会、子どもふれあいスクール事業 地引き綱・宝さがし大会、子どもみこし



目標・目指す姿・・・こんなまちにしたい

世代を超えて支えあう 安心・住みよい地域づくり
～ ひとりひとりが輝く西内野 ～

目標を達成するために・・・具体的な取り組み

① 誰もが困った時に助けあえる地域づくり

- ・高齢者指導員の育成(のっぺ、みそづくり、囲碁など)
- ・地域マップの作成(民生委員・コミ協・自治会協働)→現状の可視化と情報共有
- ・見守り活動の強化・・・友愛訪問・自治会内での見守り活動→民生委員だけでなく、地域の多くの方から見守り活動をしてもらう
- ・住民による生活支援の活発化(ゴミ出し支援、雪かき、草刈り、お助け隊、支援隊など)
- ・認知症をはじめ、困った感のある人の見守り活動を広げる
- ・地域・学校・保護者で課題の共有
- ・各施設・イベントのバリアフリーの確認(ハード・ソフト両面)

② 地域活動に参加しやすい場づくり

- ・誰もがつながれる場づくり、機会づくり
- ・地域活動、みんなで参加・みんなで運営(やれる人が、やれるときに、やれることを)
- ・西内野地域のホームページ開設(情報のプラットフォーム化)
各種イベント情報、イベント時のバリアフリー情報
ツイッターなどSNSと連動した情報提供 空地、空き家の情報

③ 新しい人材発掘・地域リーダーづくり

- ・イベント、コミ協行事、自治会、PTAなど地域内のあらゆる活動での人材情報の共有(人材発掘について常に意識し、意識づける場づくり)
- ・各活動に対する在任期間の条件づけ(後継者を育成するしくみづくり)
- ・各地域リーダーによるSNSグループの形成及び情報共有のしくみづくり

